

環境省

モニタリングサイト 1000 里地調査



一般サイト登録地



サイト名

牛久自然観察の森及びその周辺

モニタリングサイト 1000 は、動植物の生育生息状況などを 100 年に渡って同じ方法で調べ続けるサイト（調査地点）を全国に 1000 ヶ所程度設置して、日本の自然環境の変化をとらえようという環境省のプロジェクトです。

ここ「牛久自然観察の森」及びその周辺も一般サイトに登録されており、9項目の里地里山調査項目のうち、該当する下記2種類の項目について、レンジャーとボランティアが調査を行っています。



鳥類

目的：生態系で多様な役割を担う鳥類を把握するとともに、それを通じて異なる景観スケールでの環境変化を把握する。

調査手法：繁殖期と越冬期に、調査ルート上の半径 50m 以内で確認された鳥類の種名・個体数を記録する。

中・大型哺乳類

目的：生態系ピラミッドに大きな影響を与える中・大型哺乳類を把握するとともに、サイト周辺を含めた広域的な環境変化を把握する。

調査手法：春から秋にかけて、赤外線センサー付き自動撮影カメラを使用して、中・大型哺乳類の相と個体密度を記録する。

日本の国土は、亜寒帯から亜熱帯にまたがる大小の島々からなり、そこには屈曲に富んだ海岸線と起伏の多い山岳など、変化に富んだ地形や、各地の気候風土に育まれた多様な動植物相が見られます。

このような、日本列島の多様な生態系のそれぞれについて、環境省では全国にわたって 1000カ所程度のモニタリングサイトを設置し、基礎的な環境情報の収集を長期にわたって継続して、日本の自然環境の質的・量的な劣化を早期的に把握します。モニタリングサイト1000を通じ、日本の長期生態系観測態勢が整いました。

写真提供/ 環境省

環境省生物多様性センター HP より

モニタリングサイト 1000 里地調査 茨城県内の他サイト

コアサイト：穴塚の里山（NPO 法人 穴塚の自然と歴史の会）

一般サイト：滑川浜周辺の里地（七色自然くらぶ）

奥山地区（小さな鳥の資料館）

